

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2000年(平成12年)10月15日 No. 1173

## 目次

ロシアの携帯電話市場の現在と未来 .....	坂口 泉 1
CIS諸国通貨の最新為替レート .....	15

### ロシアの携帯電話市場の現在と未来

～市場規模、業界地図、次世代携帯電話をめぐる動き～

はじめに ロシアでは、経済危機以降、各事業者が料金を大幅に引き下げたこともあり、モスクワを中心に携帯電話加入者数が急増している。1997年末時点では、全国で約50万人にすぎなかった加入者数が、2000年夏時点で、約230万～250万人に達している。インフラのほうも、かつては、アナログ方式が主流だったが、最近では、デジタル方式が大勢を占めるようになってきている。

また、ロシアでも携帯電話が、ようやく、情報通信の端末として注目を集めるようになっており、一部の事業者においては、WAPサービス導入の動きや、第2世代と第3世代の中間に位置するという意味で2.5世代システムとも呼ばれるGPRSシステムの導入の試みが具体化してきている。

今回の速報では、非常にダイナミックな動きをみせているロシアの携帯電話市場の現状を報告する。

#### 1. ロシアの携帯電話方式

ロシアでは大別して、3つの携帯電話方式が採用されている。それは、北欧で普及しているNMT-450方式(アナログ。使用周波数帯は450MHz)、北米で普及しているAMPS方式(アナログ。デジタル方式のものはDAMPSと呼ばれる。周波数帯は800MHz)、欧州で普及しているGSM方式(デジタル。GSM-900とGSM-1800の2タイプがある。周波数帯はそれぞれ900MHzと1,800MHz)の3つである。

その他、CDMA方式(デジタル。周波数帯は800MHz)も導入されているが、ロシアでは、この方式は固定式無線電話にしか適用できないことになっている。ただ、CDMA方式の携帯